

就職情報交換「産学懇談会」開く



①産学懇談会の会場
②企業の人事担当者とお話する瀬戸熊理事長



業種別では建築・土木、機械・電気・情報・通信などのICT関連がとくに盛んな採用意欲を

「優秀な学生を」企業側に熱気 「産学懇談会」の会場に当てられたホテルニュー

「国際金融研究センター」来春開設
業種別では建築・土木、機械・電気・情報・通信などのICT関連がとくに盛んな採用意欲を

小林氏は第一部で「経済とパブル」その光と影」と題して、2008年に世界経済を揺るがしたリーマン・ショックが起きた仕組みを独自の金融工学の理論を使って講演した。

最多505社が出席

先志願者増 躍進の本学に注目

「大学の担当者」と早く名刺を交換したいと思ひました」「先生とぜひ情報交換をしたかったの」など話す企業の担当者からは、何としても優秀な学生を採用したいという熱気があふれていた。

「就職活動は準備がとて大切。仮に広報活動が、今同様の3月になったとしても、それまで何も準備をしなかった人として準備した人とは、必ず結果に大きな差が出てしまう。自分自身の就活スイッチを早くオンにして、有意義に活動してほしい」

インドのアミティ大と 交流協定を締結



協定書を手にアミティ科学技術革新財団のセルヴァムルティ理事長(中央左)と小宮学長

小宮一仁学長はインドのアミティ大学(ニューデリー)を訪れ10月14日、主管財団の理事長と大学間交流協定を締結した。アミティ大は国内各地にキャンパスを展開するインド屈指の私立総合大学。

NEWS CIT

2015 11.15
ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<http://www.it-chiba.ac.jp/>
毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 小澤研・西村さん、工藤さん国際会議で受賞/入江主任研究員、奨励賞も/富井教授に優秀著作賞/滝口さん向日市ロゴ優秀賞/福嶋助教に奨励賞
- 3面 「シンナライブ」スタート/子どもプロジェクト夏企画開く/「エコメッセ in ちば」に本学出展/出版案内
- 4面 県大学野球秋季2部で本学が完全優勝/実験動物慰霊祭/校友「管家基夫氏」
- 5面 タイ、中国 海外研修に参加して
- 6面 11月オープンキャンパス/新任紹介

教員たちも企業の人事担当者と交流

「オータ二幕張の大宴会場「鶴の間」の前には、受付開始時刻の1時間も前から、企業の人事・採用担当者が集まり始めた。このため時刻を早めて受付を開始したが、受付台の前には長い列ができた。

「大学の担当者」と早く名刺を交換したいと思ひました」「先生とぜひ情報交換をしたかったの」など話す企業の担当者からは、何としても優秀な学生を採用したいという熱気があふれていた。

2017年春入社の大

OPEN CAMPUS 12.6

津田沼キャンパス 13:00~17:00
受付時間:12:30~17:00

活動は「3月」、内定解禁は「10月」という日程は変更しない。

2年連続の就活日程の変更で、当事者となる現3年生には戸惑いも見られるが、就職・進路支援部の福江聡次長は次のようにアドバイスしている。

「就職活動は準備がとて大切。仮に広報活動が、今同様の3月になったとしても、それまで何も準備をしなかった人として準備した人とは、必ず結果に大きな差が出てしまう。自分自身の就活スイッチを早くオンにして、有意義に活動してほしい」

国際会議でダブル受賞

小澤研の西村さん、工藤さんポスター賞

宇宙空間など微小重力環境下での科学を議論する「第6回国際宇宙物理科学シンポジウム（ISPSO）」で日本マイクログラビティ応用学会主催は9月14〜18日、京都市上京区の同志社大室町キャンパスで開かれ、小澤俊平・機械サイエンス学科准教授の研究室の2人はともに機械サイエンス専攻修士1年で、▽西村大さん「『電磁浮遊法による酸素活量を考慮した銀および銅融体の表面張力』を発表▽工藤裕さん「レーザー加熱を併用した電磁浮遊法によるチタン融体の表面張力測定」を発表。小澤研究室では金属材料などを、微小重力環境下で容器を使わず浮遊させて溶融・凝固させ、新材料を生み出すなどの研究をしている。

西村さんは、金属を空中浮揚できる電磁浮遊技術を使って、サンプルが測定器具から汚染されることを完全に抑制して、ろう付プロセスで求められている銅や銀の正確な表面張力測定を行った。工藤さんは、この方法は、レーザー加熱を組み合わせて、従来は溶融すら困難だったチタンについて、絶対温度2300Kの高温までの表面張力測定に成功した。

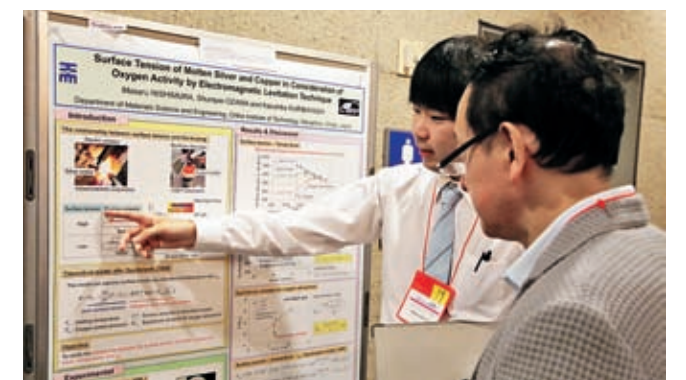
西村さんはポスター構成について、「一方、工藤さんも『英語のポスター作りは、日本語に比べ文字数が多くなってしまい、レイアウトに苦戦しました』と語



西村さんと毛利衛宇宙飛行士(授賞式で)



工藤さんと(同)



毛利宇宙飛行士に説明する西村さん

成について、何度も小澤准教授と相談し完成度を高めた。「受賞できて、とてもうれしい。慣れない英語の発表に戸惑いましたが、なんとかやり遂げました。今後は口頭発表にも挑戦して

り、「英語が不安でしたが、賞を頂けてすごくうれしい。半面、英語力のなさを身にしみて感じたので精進したい」と語った。ISPSは国際会議として、各国の宇宙機関が主催している。

向日市ロゴで優秀賞

デザイン科学科の滝口さん



優秀賞に選ばれたロゴマークと滝口さん



デザイン科学科3年の滝口亜美さんが、京都市向日市が募集した「向日市歴まちロゴマーク」に応募した作品が、優秀賞に選ばれた。応募作は189点あり、このうち最優秀賞が1点、優秀賞に4点が選ばれた。10月10日、向日市民会館ホールで表彰式があった。

向日市は平安京の前の長岡京(784〜794年の地として有名で、大極殿跡が残る。滝口さんは大極殿のシルエットをメインに、発達していた水路と基盤の目状の道路を描き、竹林が多いことから笹をあしらった。

「向日市には行ったことがなく、市の魅力や長岡京など、とにかくたくさん調べました。ロゴに、あまりごちゃごちゃと入れすぎないように、必要な情報を選んだという。

滝口さんは「賞をいただいただけ、とてもうれしい。向日市について多くを知る機会にもなり、よい経験になりました。千葉県から表彰式に来たことで向日市民からうれしい言葉をたくさんいただきました」と語った。

富井教授に優秀著作賞

「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」



富井教授

富井規雄・情報工学科教授が発表した「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」(電気車研究会、鉄道ヒクトリアル)2014年6月号掲載)が、鉄道友の会の2015年・鳥秀雄記念優秀著作賞(定期刊行物部門)に決まった。授賞式は10月4日、東京・九段北のアルカディア市ヶ谷私学会館で行われた。

富井教授はコンピュータを駆使した鉄道システム工学のスペシャリスト。賞の選考委員会によると、受賞作は、鉄道輸送サービスでも特に重要な「運転整理」について身近な実例を引きながら紹介している。必要な図表はカラーで分かりやすく解説。旅客サービス向上へ、専門家としての提案も盛り込まれており、優れた著作だとしている。

富井教授はこれまでに

も『鉄道ダイヤのつくりかた』(オーム社)2012などの専門書や一般書を出版している。鳥秀雄は、旧国鉄でD51形機関車を設計。後に十河信二国鉄総裁(当時)のもと、技師長として純国産技術で新幹線を完成させ「新幹線の生みの親」と呼ばれた人物。元宇宙開発事業団(現JAXA)の初代理事長も務めた。

鳥記念賞は2008年以来、前年発行された鉄道関係の著作物から、単行本、定期刊行物、特別部門の3部門で優秀著作賞を選定している。

福嶋助教に奨励賞

戦後の教育理念形成を研究



福嶋助教

工学部教育センター社会教室の福嶋尚子助教が日本教育行政学会の年報に投稿した論文が、研究奨励賞を受賞した。10月10日、名古屋大東山キャンパス(名古屋千種区)で開かれた学会第50回記念大会で表彰された。

論文は「IFELにおける学校評価論の分析―農業高校に関する基準政策の展開に着目して―」。

福嶋助教は戦後、連合国軍総司令部(GHQ)が進めた教育改革で、学校評価理論を導入しようとしたGHQと文部省との間で

大極殿跡が残る。滝口さんは大極殿のシルエットをメインに、発達していた水路と基盤の目状の道路を描き、竹林が多いことから笹をあしらった。

「向日市には行ったことがなく、市の魅力や長岡京など、とにかくたくさん調べました。ロゴに、あまりごちゃごちゃと入れすぎないように、必要な情報を選んだという。

滝口さんは「賞をいただいただけ、とてもうれしい。向日市について多くを知る機会にもなり、よい経験になりました。千葉県から表彰式に来たことで向日市民からうれしい言葉をたくさんいただきました」と語った。

ロボット学会研究奨励賞も

入江主任研究員 ロボット自己位置推定で



入江主任研究員

ト学会学術講演会(福岡市・九州産業大)で発表した、移動ロボットの自己位置推定方法についての研究が、研究奨励賞に決まった。今年9月4日、同学会の第33回学術講演会(東京都足立区・東京電

機大)で表彰された。発表論文は「初めて訪れる場所における2次元市街地図を用いた自己位置推定」。

入江主任研究員は、Google Mapのような既存の市街地図を用いて移動ロボットの自己位置推定を行う研究を進めている。事前情報や物体認識を用いず直接、自

己位置推定を可能にする方法で、発表では、統計的依存性を最大化するという新しいアプローチを提案した。

今年3月の第20回ロボット学会シンポジウムで、この方法を拡充した成果で、友納正裕副所長とともに優秀論文賞を受賞している。

入江主任研究員は「受賞は大変うれしい。今後さらに研究を進め、本当に使われる技術になるよう頑張りたい」と語っている。

富井規雄・情報工学科教授が発表した「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」(電気車研究会、鉄道ヒクトリアル)2014年6月号掲載)が、鉄道友の会の2015年・鳥秀雄記念優秀著作賞(定期刊行物部門)に決まった。授賞式は10月4日、東京・九段北のアルカディア市ヶ谷私学会館で行われた。

富井教授はこれまでに

も『鉄道ダイヤのつくりかた』(オーム社)2012などの専門書や一般書を出版している。鳥秀雄は、旧国鉄でD51形機関車を設計。後に十河信二国鉄総裁(当時)のもと、技師長として純国産技術で新幹線を完成させ「新幹線の生みの親」と呼ばれた人物。元宇宙開発事業団(現JAXA)の初代理事長も務めた。

鳥記念賞は2008年以来、前年発行された鉄道関係の著作物から、単行本、定期刊行物、特別部門の3部門で優秀著作賞を選定している。

大極殿跡が残る。滝口さんは大極殿のシルエットをメインに、発達していた水路と基盤の目状の道路を描き、竹林が多いことから笹をあしらった。

「向日市には行ったことがなく、市の魅力や長岡京など、とにかくたくさん調べました。ロゴに、あまりごちゃごちゃと入れすぎないように、必要な情報を選んだという。

滝口さんは「賞をいただいただけ、とてもうれしい。向日市について多くを知る機会にもなり、よい経験になりました。千葉県から表彰式に来たことで向日市民からうれしい言葉をたくさんいただきました」と語った。

未来ロボット技術研究センター(furor)の入江清主任研究員が昨年9月、第32回日本ロボット学会(東京都足立区・東京電

機大)で表彰された。発表論文は「初めて訪れる場所における2次元市街地図を用いた自己位置推定」。

入江主任研究員は、Google Mapのような既存の市街地図を用いて移動ロボットの自己位置推定を行う研究を進めている。事前情報や物体認識を用いず直接、自

己位置推定を可能にする方法で、発表では、統計的依存性を最大化するという新しいアプローチを提案した。

今年3月の第20回ロボット学会シンポジウムで、この方法を拡充した成果で、友納正裕副所長とともに優秀論文賞を受賞している。

入江主任研究員は「受賞は大変うれしい。今後さらに研究を進め、本当に使われる技術になるよう頑張りたい」と語っている。

富井規雄・情報工学科教授が発表した「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」(電気車研究会、鉄道ヒクトリアル)2014年6月号掲載)が、鉄道友の会の2015年・鳥秀雄記念優秀著作賞(定期刊行物部門)に決まった。授賞式は10月4日、東京・九段北のアルカディア市ヶ谷私学会館で行われた。

富井教授はこれまでに

も『鉄道ダイヤのつくりかた』(オーム社)2012などの専門書や一般書を出版している。鳥秀雄は、旧国鉄でD51形機関車を設計。後に十河信二国鉄総裁(当時)のもと、技師長として純国産技術で新幹線を完成させ「新幹線の生みの親」と呼ばれた人物。元宇宙開発事業団(現JAXA)の初代理事長も務めた。

鳥記念賞は2008年以来、前年発行された鉄道関係の著作物から、単行本、定期刊行物、特別部門の3部門で優秀著作賞を選定している。

大極殿跡が残る。滝口さんは大極殿のシルエットをメインに、発達していた水路と基盤の目状の道路を描き、竹林が多いことから笹をあしらった。

「向日市には行ったことがなく、市の魅力や長岡京など、とにかくたくさん調べました。ロゴに、あまりごちゃごちゃと入れすぎないように、必要な情報を選んだという。

滝口さんは「賞をいただいただけ、とてもうれしい。向日市について多くを知る機会にもなり、よい経験になりました。千葉県から表彰式に来たことで向日市民からうれしい言葉をたくさんいただきました」と語った。

新習志野で 「シンナライブ」

図書館前

取って置きの話ミニレク

初回は竹内教授

たし写真。

昼休みの30分間、図書館の前で普段の授業では聞けない先生方の「取って置き」の話をお聞きしよう！

1、2年生が学ぶ新習志野キャンパスでは先輩学生が少なく、ゼミや卒業論文指導もないため、教員と学生との触れ合いは授業が中心。そこで図書館事務課の高池宣彦さんら



大が満足した頃には、校舎に使っていた玉川学園の校地の芝生の上で教員を囲んで外国語の授業が行われたこともあったと伝えられており、そんな開放的な雰囲気の中で教員と学生がともに学び合う機会にしたいという思

「エコメッセ2015 inちば」が9月23日、幕張メッセ国際展示場で開かれた。市民団体・大学・企業・行政など12団体が出展し、約12000人が来場した。今年には20周年の記念すべき開催となった。

環境保全へ多彩に展示

「エコメッセ inちば」に本学の各研

村上交授▽同社会環境研究室(五明美智男教授)▽化学第4実験研究室(谷合哲行准教授)▽教育センター・南澤研究室(南澤隆賢准教授)▽VCIITものづくりプロジェクトの3チーム(アロバイザー・谷合哲行准教授)が参加し、多岐にわたる内容を展開し多くの人々と交流した。



村上交授の展示



終始にぎやかな会場

庭から出される牛乳パックなどの廃棄物を使ったエコトイ・エコトイ製作ワークショップを開き、2つのワークショップで延べ300人以上の参加者が集まり好評だった。

思考・創造力促すスポーツ

子どもプロジェクト夏企画開く

子どもプロジェクト夏企画2015が夏休みの8月24、25日、考える、創る、感じる、つなげるをテーマに新習志野キャンパスのデザイン・ロボット製作室などで開かれた。小学生延べ62人が参加したし写真。

子どもプロジェクトは、子どもの発育発達出生時17歳を追求研究している本学教育センター(体育教室)の引原有輝准教授、若林斉准教授に、松崎元デザイン科学科教授、青木岳史未来ロボティクス学科准教授、



茨城大教育学部教員ら協力し共同で企画された。スタッフに本学学生22人、茨城大生4人が加わった。

初日は、デザインと遊び・スポーツのコラボ体験。午前は松崎教授と学生たちの協力で「デザイン」になってチームオリジナルTシャツを作ろう！。チームに分かれ、パソコンを使ってエンブレムを描き、Tシャツに転写。午後には、各チームが自作のTシャツを着て▽加速度センサー内蔵サッカーボールを使ったシミュレーションストラック

ラインを使った綱渡り体験▽Xシャイロや楕円型ボールで投動作体験▽チーム対抗アルティメット試合を楽しんだ。



出版
企業間競争にさらされる営業や研究開発、製造などの現場。プロジェクトメンタル

現場で心の健康保つには

プロジェクト現場のメンタルサバイバル術

著者「プロジェクトマネジメント学会編(学会のメンタルヘルス研究会委員である五百井俊宏・プロジェクトマネジメント学科教授ら14人が共同執筆) 出版―鹿島出版会 価格―2376円(税込み)



五百井教授

は厳しい制約条件や顧客との人間関係から、ストレスや強い悩み、不安などを覚え、メンタルヘルス不調に陥ることが多い。プロジェクトマネジメント学会メンタルヘルス研究会は2009年から、国内外でワークショップを開き、心の健康を確保する方法を検討してきた。本書は、ワークショップで得られたメンタルヘルスマネジメントに関する実践的知識をまとめたもの。

1の3章に分類し、プロジェクト炎上/背伸びした私/他人任せ/動かさない/寝る間も惜しんで頑張ったのに報われない/体が悲鳴をあげている/威圧的な上司/木曜日は会社に行けない/マシン室Oとりのぼち/執念が病気を超える日/正社員じゃないのに……と、現場から上がった具体的な問題を解説。

プロジェクトメンタルヘルスの健康を保つためには、人とつながること▽声を上げること▽自分のこととして捉えること▽の重要性を指摘している。A5判、226ページ。

本学チーム 完全優勝

県大学野球 秋季リーグ2部



優勝杯を手渡される石橋主将

MVPに岩堀選手

平成27年度千葉県大学野球秋季リーグ戦2部リーグは9月5日～10月18日、本学西浜野球場で開催され、本学チームが10勝2敗(勝ち点5)で、全チームから勝ち点を奪う完全優勝を果たした。2部では、3季ぶりの4回

目の優勝。
竹内秀一・野球部監督(学生センター課長)は「個々のモチベーション、志を高く持たないと、レベルは上がらない。やぶられる野球ではなく、自ら取り組む野球をした結果が優勝につながった。平日は授業の関係で全体練習が限られている中、昨年末に完成した室内練習場の効果は大きい」と話している。



試合前にミーティング

10月31日には1部・2部リーグ入れ替え戦に臨んだが、本学チームは残念ながら2部残留が決まった。来季こそ1部リーグ昇格を狙う。

2部リーグ個人賞では、最優秀選手賞に岩堀智紀選手(経営情報科学科4年・東海大望洋高出身)が選ばれたほか、最多勝に6勝を挙げた川田瑛介投手(プロジェクトマネジメント学科3年・国府台高出身)が選ばれた。

そのほかの表彰選手・成績は次のとおり(学科学年の次は出身高校)。



優勝杯と賞状を手にする(左から)川田、岩堀、小黒、川上、石橋、橋本の各選手

- ◆首位打者 岩堀智紀
- ◆ベストナイン 二塁手 石橋好古 112 回目受賞(金融・経営リ
- ◆打率 1位 岩堀智紀 5割
- ◆2塁手 小黒功季 112 回目受賞(経営情報科学
- ◆3塁手 川上祐作 112 回目受賞(経営情報科学
- ◆4塁手 石橋好古 3割7
- ◆5塁手 橋本 3割5
- ◆6塁手 川上祐作 3割5
- ◆7塁手 川上祐作 3割5
- ◆外野手 岩堀智紀 113

実験動物を慰霊

平成27年度実験動物慰霊祭が9月25日、津田沼キャンパス2号館で行われ、約100名が参加した。



本学は、科学技術の発展がこれら動物たちの犠牲の上に成り立っていることを再認識し、今後も強い倫理観を持って教育・研究活動に従事してまいります。

活躍する 校友

ASME(アスメ)って、知っていますか? 化学・石油精製や原子力など巨大プラントの製造工程や部品の基準や規格を細かく定めた、メイド・イン・USAの世界的な技術のパスポートだ。携わる公認検査官(AI)オンラインアシスト・インスペクターは日本に20人ほどしかいない。その第一号が管家基夫さんである。

ASME 米国機械学会 (The American Society of Mechanical Engineers) 米国の機械工学に関する学会かつ職能団体。その公認検査官は米政府機関員としての資格を有し、給与は当該機関経由で支給され、マニュアル審査やマニュアルに沿った工場設計や規格通り製品化されているかなど安全性を現場にて書面、非破壊検査などで監査する。

実家は祖父の代からの鉄工所だ。大阪、愛知、千葉に事業所を構え、大手の製鋼所へ納品。1970年代、市場のグローバル化に伴い、工場単位で必要なASME認証の取得が求められる始める。実家へもアメリカ人のAIが入りし、「キミも取ったらどうか。私の家に下宿したらいい」と勧められた。自分を損保会社へ移し、妻を日本に残しニューヨークへ旅立った。ときに28歳。

英語力不足で卒後、猛勉強 アジア人第1号に



「ストレス解消は、釣りや空手で」と管家さん

「事故と聞くとドキッですわ。自分の手がけたプラントやろか、って」。幸い、これまでトラブルはないという。

現場ではその会社の従業員を指導もする。質問に答えられないとき、「キミ、(お笑いの)吉本興業へ行ったらええんちゃうか」と皮肉の一つも返す。付き合いの長い神戸製鋼所高砂製造所(兵庫県)の遠藤将夫・機器品質保証室長は「モノづくりは真面目でないとダメ。きびしく、優しい親爺みたいな存在です」。

ASME(アスメ)って、知っていますか? 化学・石油精製や原子力など巨大プラントの製造工程や部品の基準や規格を細かく定めた、メイド・イン・USAの世界的な技術のパスポートだ。携わる公認検査官(AI)オンラインアシスト・インスペクターは日本に20人ほどしかいない。その第一号が管家基夫さんである。

AI資格をとって35年。いまでも年間約6万キロは国内を車で走る。「凍土地帯から赤道直下まで、行ってへん国は北朝鮮くらいなもんですわ」と明る大阪弁で笑う。

浪速の水で育った。「私立の単科工大では一番古い」と本学へ。下宿へ移る前の1年間、質実剛健で鳴る千種寮で乗り回したという。ほんぼんだったようだ。一方で、鍛錬に空手部に属した。

「でも身体は小さく、相手の突きをかすのが難儀だった」とか。このため3年生のとき独自に剣道部を立ち上げ、主将に。沖繩空手の流れをくむ、相手の攻めをかすのをモットーにする拳法であった。人気を呼び、空手部員の数をしのいだ。当然、反発を呼ぶ。顧問の先生を介して丸く収めたが、元々まとめる才覚があったのだろう。ところが卒業単位の方が足りず、1年留年してしまった。

翌年、合金に混ざる気泡をテーマにした研究で無事卒業、機械メーカーへ入った。ほぼ同時に学生時代の知り合いだったいまの奥さんと結婚している。約2年後、「家の仕事を」と父に要請され、大阪へ戻った。

生活も一変した。検査機関

タイ、中国 海外研修に参加して



万里の長城で。前列右端が石原さん

参加のきっかけは、文化・歴史・生活が異なる中国に行き、デザインについて学びたいと思ったからです。

私は、他大学から本学の大学院に入学しました。それまではデザインとは異なる分野を学んでいました。今、デザインについて勉強すればするほど、より詳しく学びたいという思いが強くなりました。

スケジュールは大きく分けて、北京、哈爾濱、上海、と移動しました。中国に着き、交通事情に衝撃を受けました。バスの中から街並みを眺めていたところ、歩行者は歩道がなくとも気にせず車道を横切るのが日常茶飯事。自動車のクラクションが各所で響き渡っていました。

人間工学が専門なので、トイレにも注目しました。

スケジュールは大きく分けて、北京、哈爾濱、上海、と移動しました。中国に着き、交通事情に衝撃を受けました。バスの中から街並みを眺めていたところ、歩行者は歩道がなくとも気にせず車道を横切るのが日常茶飯事。自動車のクラクションが各所で響き渡っていました。

また、歩道の段差が激しく、障害者は不便を多々感じるのではないかと思いました。

今回、中国のさまざまな土地を周ることが出来、北京周辺では天安門・故宮・万里の長城・頤和園（北京西北郊外の大庭園で西太后崇華の跡）・鳥の巣（北京五輪メインスタジアム）・水

立法（水泳競技場ウォーターキューブ）、上海では玉仏寺（宝石をちりばめた2体の玉仏を安置）・豫園（明代の名園）・南京路などを遊覧しました。どの場所でも、スケールの大きさに驚きました。

た。故宮で、当時の皇帝がいかに権力を握っていたかを目のあたりにしました。天安門広場には毛沢東の肖像画が掲げられており、人物を尊敬する面でも日本では見かけないほど規模が大きいく、全体的に日本との違いに驚きました。

スケールの違い痛感

デザイン科学専攻博士前期課程1年 石原 成治郎

哈爾濱工業大、北京、上海巡り



タイの小学校で。後方の右が田中君

タイに行く直前の8月17、18日に、バンコクで爆破テロが発生。突然の事件に思い悩み、とりあえず冷静になって調べてみよう、ガイドブックに事件の発生時刻や発生場所を記入しました。それでも行きたい決心は変わりませんでした。

今後、部活などが忙しくなり、今しか行けないと思ったのと、（過激派組織ISなど）世界情勢を考えると、平和なところなどほとんどないと思っただけです（他大学の女子学生2人は直前キャンセルしたとのこと）。

タイでは、多くの驚きと発見がありました。中でも素晴らしいと感じたことが3つあります。

1つ目は「バンコクの街並み」。タイには田園風景しかなく三輪タクシーのトゥクトゥクばかり、のイメージでしたが、実際のバンコクでは多くの車とバイクが走っており、とても都会でした。ただ、少し路地に入ると違う世界が広がっていました。

2つ目は「タイ人の優しさ」。泰日工大の交換留学生として、多くの現地学生と交流し、言語などを優しく教えていただきました。特に私のパデリーのPodはとても優しかった。彼はあまり日本語と英語が得意ではなく、会話は正直大変でした。バンコクにあるワック

3つ目は「タイ人の宗教に対する姿勢」。いろいろな場所に行きましたが、必ずと言っていいほど「サン・プラ・プーム」といわれる小さいお堂のような祠があり、日本の神棚のようなもの。土地神様が祭られ、とても細やかな装飾がしてありました。

本では周りの景色と併せての風景を重視しているのに対し、中国では周りの環境というよりは、装飾そのものに力を入れているという印象を受けました。哈爾濱工大の学生との交流では、中国の学生の勉学に対する意識の高さを研究発表から感じました。

今夏、泰日工業大学（タイ・バンコク）の2015年サマープログラム（8月20～31日）に参加した田中志弥君（未来ロボティクス学科2年）と、中国学生交流プログラム（デザイン分野）（9月11～17日）に参加した石原成治郎さん（デザイン科学専攻博士前期課程1年）が、本紙に帰国報告を寄せた。その要旨を紹介する。

泰日工業大はタイの産業発展に必要な技術者・人材を育てるため2007年に開学した大学で、日本的なつくり思想を採り入れ、実践に強い学生の育成を目指している。

一方、中国学生交流プログラムでは、技術者教育で名高い国立大学である哈爾濱工業大学（黒竜江省哈爾濱市）の学生と交流したほか、北京、上海などの名勝を見て回った。

「人生」を教えられた

未来ロボティクス学科2年 田中 志弥



泰日工大の学生たちと

交通手段は鉄道などが発達していないため、ほとんどがバスやタクシーでした。中でもモーターバイクとタクシードライバーが最も衝撃的でした。普通の2人乗りバイク？に、運転手を含め3人乗りさせられ、とても怖い思いをしました。

2つ目は「タイ人の優しさ」。泰日工大の交換留学生として、多くの現地学生と交流し、言語などを優しく教えていただきました。特に私のパデリーのPodはとても優しかった。彼はあまり日本語と英語が得意ではなく、会話は正直大変でした。バンコクにあるワック

3つ目は「タイ人の宗教に対する姿勢」。いろいろな場所に行きましたが、必ずと言っていいほど「サン・プラ・プーム」といわれる小さいお堂のような祠があり、日本の神棚のようなもの。土地神様が祭られ、とても細やかな装飾がしてありました。

タイに滞在中、路上演奏をしている子どもを少なからず見かけました。その度に、自分の人生がどんなに裕福で幸せなのか、この子たちより、いい環境にいるのに人生の時間を彼らより無駄にしているのでは、と反省しました。帰ったら、彼女や他の子どもたちに負けないくらい一生懸命生きたい。ボランティアなどにも積極的に参加したいと思いました。

学科の魅力アピール

11月オープンキャンパス

秋晴れの11月1日、この季節では初めてのオープンキャンパスが津田沼校舎で開かれ、受験生・父母ら2055人が来場した。

入試シーズンを控え、用意された関連講座は▽推薦入試説明会&対策講座▽一般・センター入試説明会▽駿台予備学校講師による入試問題解説授業―など。「学科説明会&学び体験」は6号館、7号館を中心に開かれた。学科説明のほかに、工作体験、研究室ツアーなど、各科の特色を生かしたイベントが並んだ。来場者らは物づくりの魅力に刺

いつもの人気。チバテクコの部屋



学科説明会&学び体験に熱がこもる

激されながら、各会場を回った。

今回は学生企画も盛りだくさん。「リット」「KOMADO」「フォミーユラカー」「プチワークショップ」と、ユニークな活動に、来場者たちは興味津々。構内を効率よく案内するキャンパスツアーは物づくりの魅力に刺



工作センターで



一般・センター入試説明会

全部見せます千葉工大

新任紹介

敬称略―本学との出会いや専門分野、趣味などを掲載しています

教員

熱海 武憲准教授

(機械サイエンス学科)



教職員の皆様や学生さんたちがとても爽やか。21世紀に生き抜く学生の皆さんに、社会に出てから支えとなるような技術を伝えていきたい。

専門分野はメカトロニクス、自動制御。趣味は読書。

上田 隆一准教授

(未来ロボティクス学科)



着任早々、研究室にロボットを動かすにやるなど、手を動かすことが好きな学生が多い印象。今後は頭も動かしてもらえようように、さまざまな仕掛けをしていきたい。

サラリーマン時代の経験から、学生を大人の世界に引っぱり出し、いろいろな人に会わせたい。実はシースルーのエベーターが怖い(笑)。

研究員

吉川友也主任研究員

(人工知能・ソフトウェア技術研究センター)



きれいなキャンパスに加え、教職員の方々は優しい人ばかり! とても仕事しやすいです。新しくできた研究センターなので、これから良い成果を出せるように頑張りたい。

専門分野は機械学習、データマイニング。

奥平 修研究員

(惑星探査研究センター)



自由で明るい雰囲気の中、限られた人数ながらも多くの成果を得るために各人が協力し合っている印象。これまで宇宙機用観測装置の開発に携わってきた経験・知識を生かし、効率的に研究を進められる環境作り、研究開発のサポートを行いたい。

専門分野は宇宙環境、宇宙放射線。趣味はテニス、スキー。

職員

長澤 宏昭

(総務部付・部長)

興味は読書、散歩。



これまでの経験を生かし、活力・魅力あふれる大学造りに貢献していければと思っています。

趣味はゴルフ、アメリカンフットボール(シニアチームでプレー中)。

大竹 智美

(学生センター・事務職員)



職場の皆様は大変温かく、優しく、穏やかな印象です。身近な存在として学生に寄り添い、充実した学生生活を送れるようにサポートしていきたいと思えます。

趣味はスキー。

鈴木 みのり

(学務部・事務職員)



きれいで明るく開放的な空間がとても気持ち良いです。皆さんに温かく指導していただき、心強いです。1日でも早く戦力になれるようがんばります!

PPA



年々、ハロウィーンが盛んになってますね。私の研究室でもみんなで仮装してお菓子パーティで盛り上がりました。もともと子供たちが仮装して近くの家々に訪れ、お菓子をもらったりする可愛い風習だそうですね。まあ、なにに大学生が言い出すのはここではやめ

ましよう。さて、このハロウィーンですが、幼い頃に同じような体験をした気がしていました。もちろん、数十年前の三重の田舎でハロウィーンなんてある訳ではありません。思い起こすと、秋のお月見の時に、近所の家々を回って、団子をぶらぶらして「お月見どるぼう」が浮かんできました。暗い中、団子だと思ってもらってきたら里芋でがっかりしたことなども。

そして、ちょっとした風習について調べてみると、福島、茨城、千葉、愛知、三重などで行われていたようです。お月さまへのお供えを盗られた農家は豊作になり縁起が良いとのことでした。というわけで、来年はハロウィーンだけではなく、お月見にも研究室の前に団子を置いておきますので、お月見どるぼうに来てくださーいね。(笑)

情報ネットワーク学科

中村 直人

四季雑感



紅葉シーズン真っ盛りですが、駅ビルなどの商業施設では早くもイルミネーションがハロウィーンからクリスマスモードへと変わり始めています。そんな光景を見ると、もう寒い冬が来るのかと実感させられます。

学園祭の思い出といえば、学生時代をイギリスで過ごしたこともあり、日本の文化紹介で演奏した和太鼓です。外国人に日本文化を伝えられることをしたいと思い、大学生になってから和太鼓を始めました。サークル活動として始めたのですが、大学を卒業する頃にはプロの打楽器奏者と演奏活動をするレベルになっていました。振り返って常々思うのは学生だからこそ好きなことに没頭

軽部 伸吾

編集だより



久しぶりのオトナ女子会で、またシワが増えたんじゃないだろうか?という程笑いに満ち溢れた時間を過ごした。

は省略・笑も、開催から10年になる。退職してしまってお姉さまも交え、話題は仕事でのグチ(苦笑)が少々、その時期放送のドラマから芸能人誰が素敵!やら誰だれは相変わらず演技がヘタだ!など評論家ばりのトークがくり広げられたり、最終的には「この前の健康診断が...、保険見直しなら料金...、この女子会もいつまで続くか...」

物忘れのひどいオバさん連中が、とぎれとぎれの単語であれば、これよ!と手探り状態の会話を繰り広げ、周囲からどう見られているかが心配だが、目まぐるしい程の辛口弾丸トークのキレ具合から、「まだまだ行ける!」と変な自信が湧いてくる。お腹も心も満タんに、明日も笑顔で頑張れそう。

入試広報課

大橋 慶子